

国際ロータリー 第2500地区 第4分区

# 遠軽ロータリークラブ

THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

## 第3162回例会記録

日時：2025年 4月17日(木)12:30～

会場：ホテルサンシャイン 2F

司会：高井 一博 SAA

★開会点鐘：乾 淳 会長

★国歌：—

★Rソング：我等の生業

★四つのテスト：—



2024-2025年度 国際ロータリーテーマ

# 2024~2025 Weekly Report No.38

### 本日のプログラム

4月24日(木)12:30～  
クラブフォーラム  
五大奉仕部門次年度計画

### 次回のプログラム

5月 8日(木)12:30～  
クラブフォーラム  
クラブ奉仕部門次年度計画

小谷典之RID2500ガバナーズローガン：ロータリーに参画しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために

乾 淳 遠軽ロータリークラブ会長スローガン：歴史と誇りを胸にさらなる発展を！

### 会長報告

乾 淳 会長

13日(日)、釧路市にて開催されたクラブリーダーシップラーニングセミナーに参加された会員の皆様、大変お疲れ様でした。【写真】

いよいよ次年度の準備が開始される時期ですので、各委員長は宜しくお願い致します。

今日は、自動車整備業界のお話をさせて頂きたいと思います。

今年の6月より新たな制度が施行される予定ですので、皆様へ情報提供をしようと思います。

その制度とは、自動車の出張整備制度でございます。この制度改正により、自動車整備事業者が、企業や顧客の自宅を訪問し、「特定整備」などを行えるよう規制が緩和される制度となります。ただし、エンジンやトランスミッション、ブレーキなどに該当する作業については、引き続き認証を受けた整備工場で行う必要があります。そのため、出張整備で対応可能な作業内容には制限があるため注意が必要となります。実際の出張整備で出来る作業内容としては、ブレーキキャリパーを取り外して行うパッド交換や、オルタネーターやセルモーター交換時に発生するエンジンマウントの取り外しやドライブシャフトの取り外し、タイヤショベルなどのステアリング用油圧ホースの交換などがあります。

整備工場側の対応としては、出張整備をする前日までに運輸支局へ届出をしたり、整備時には写真を撮り2年間保存しなければならない等、手間のかかる制度となる予定です。

現実的に、この制度は中央などの都市部では需要があると思いますが、それ以外の地域では普及することは無いかと思っております。

本日のプログラムはクラブフォーラムで、クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)の報告です。報告者の皆様、宜しくお願い致します。

### 幹事報告 石井 朋子 幹事

1. ハイライト米山301号。回覧。



### 委員会報告

◇福家 貢 親睦活動副委員長

ご案内の通り、5月15日午後6時より花見例会をミートパビリオンYOSHIKAWAで開催します。

◇本間 克明 ロータリー情報委員長

入会3年未満会員へオリエンテーション開催の案内。5月7日(水)、16時40分からメトロプラザで講話、18時から生ちゃん懇談会。他会員参加OK。

### 本日のプログラム クラブフォーラム

#### 2025-2026年度 PELS、CLLS 報告

大西 孝拡 会長エレクト

2025-2026年度より、会長・幹事が出席対象のPETSは会長エレクトラーニングセミナー(PELS)へ、地区協議会がクラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)となり、各セミナーは対談形式の対話型スタイルへ変わりました。

■4月12日：PELS報告(13:30～19:00)

(1) 2025-26年度国際ロータリー会長はブラジル・サンパウロのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏。今年度は会長テーマではなく会長メッセージ『よいことのために 手を取り合おう』。

(2) 地区活動方針ならびに地区重点目標について 地区スローガン『Rotaryのことを熱く語ろう！～Rotarian Benefitsを紡ぎ、そして育むために～』

地区重点目標Ⅰ会員数2500名の会員増強が最大の目標、Ⅱ①【ファンドレイジング】の理解と実践、②【ポリオ根絶活動】の周知と実施、③【青少年奉仕】の拡大と充実：インターアクトの推進

(3)地区予算案

【2面へ】

(4) 次年度地区行事予定表ならびに地区組織：当クラブから4名地区出向。・ガバナー公式訪問：9月25日(木)夜間例会日・地区大会(釧路)10月25日(土)・第4分区IM：2026年3月20日、第4分区ガバナー補佐は興部RC菅原様・2026年4月12日 CLLS(旭川)

・2026年5月16~17日、ライラーセミナー(釧路)  
 (5) 対談 (6) 講演、ディスカッション (7) 懇親会  
 ■4月13日、CLLS報告(9:30~14:30)

当クラブより21名(内5名が初)参加。佐渡ガバナーエレクトの国際協議会報告と講話等、分科会。

◆第1分科会報告 大西 孝 会長

会長の役割と<元気なクラブ>！ 元気なクラブとなる10の提言。会長の最大の責務は『魅力的で価値ある例会を開催する事』

このクラブに所属しているという安心感、居心地のよさを感じるクラブ。例会は、特に新入会員に対する心遣いが大切。地域社会を支援し、個人的にも職業的にも成長できるよう、より多くの機会を提供することを心掛けて行きたい。

◆第2分科会報告 木村 一則 会員

主に足立功一パストガバナー(DPG：地区職業奉仕委員長)による職業奉仕の理念と意義に関する講義。日本のRCにとって根幹である職業奉仕の重要性を再認識し、昨今のRIの風潮で職業奉仕が軽視されている現状に警鐘を鳴らす内容。

入会5年未満のアカデミー枠を設け、日本のロータリーの根幹である職業奉仕を再評価し、理解を深めることを目的とします。

◆第3分科会報告 川村 寿光 会員組織委員長

地区の重点目標は「会員数2500名の目標の達成」。現在、地区会員数は2,344名(3月末：RC=2,241人、名誉会員=29人、RA=74人)、クラブ数はRC=64、衛星C=1、RA=9です。各クラブ2.1人以上、10%増強と言うことで、当クラブに当てはめると5人の増加目標となり、一人でも多くの(女性)会員を迎えたいと思います。皆様のご協力が必要になりますので、宜しくお願いします。

◆第4分科会報告 福家 貢 青少年奉仕委員長

佐渡正幸DGE講演「青少年奉仕の重要性」

・ローターアクトの現状：都市部では活発だが、北海道2500地区ではクラブ数・人数が減少傾向。

・インターアクト：海外研修は有意義。ロータリアンは両活動への奉仕が義務です。

パネルディスカッション：RAC、IAC活性化のために・IAC紹介：アメリカ発祥、日本初の設置は1963年仙台育英高校。・活動内容：ボランティア、募金、雪かき、スマホ講習など。

・交流活動：国連関係団体や他国RI団体との交流。  
 ・課題：会員減少、教員の働き方改革、提唱クラブの財務問題(海外研修費等の高騰)。

・会員確保：学校(校長)との連携が重要。旭川北IACでは昼例会での交流が活発。

・IAC当番校：設立順の持ち回りを希望。

総評：佐渡ガバナーエレクト

・IA活動助成金増額：20万円→60万円

・IA地区大会助成金増額：50万円→90万円

・目的：海外研修機会の確保。会員拡大による予算充実を目指す。

◆第5分科会報告 井上 英勝 社会奉仕委員長

第2500地区における環境問題対策とロータリー活動活性化のための提言がありました。

小船井修一DPG講演：「奉仕の理想」とは；ロータリーの目的における「奉仕の理想」の重要性・地域社会奉仕プロジェクトの実践によるクラブの活性化・活動を通じて「my rotary moment」を体験することが活動へのモチベーション向上に繋がります。

社会奉仕委員会山岸弘典委員長(釧路北RC)のプレゼン：社会奉仕における環境問題への取り組み・第2500地区における社会奉仕として、地域の環境問題に焦点を当てることの重要性・クラブの社会奉仕活動に一般参加者や学校のボランティア部などを巻き込むことの有効性を強調しました。

提言の目的；

- ・2500地区における環境問題対策の重要性の共有
- ・社会奉仕の観点から取り組むべき活動の明確化
- ・若手会員がR活動に参加するモチベーション向上

◆第6分科会報告 宇野 勝 メディア委員長

①ファンドレイジングは、単なる資金調達だけでなく、広報活動として公共イメージの向上に繋がります。奉仕活動をより円滑に進めるための好循環を生み出します。②ロータリーの最優先事項：ポリオ根絶への寄付は、ロータリアンとしての成長の一步であり、募金活動を通じてロータリーの活動を社会に広く周知する機会となります。

福島県における調査では、ロータリーの認知度がわずか16%、ポリオ撲滅活動に至っては1%という低い結果が出ています。福島県は人口比でロータリアンが最も多い県であるにも関わらず、この認知度の低さは深刻な問題です。

今後は、積極的に奉仕活動を展開し、ロータリーのイメージ向上と新入会員の増加を目指す好循環を作り出す必要があります。広報委員会が中心となり、ロータリーの公共イメージを向上させるための議論をクラブ内で深めることが重要です。

ニコニコBOX 福家 貢 親睦活動副委員長

木村一則君 2週連続ノーバッジ 2,000円  
 2024-25年度合計 518,000円

☆閉会点鐘：乾 淳 淳 会長 ☆今号会報担当：加藤幸徳委員  
 2024-25\_38th\_03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行：メディア委員会	
								委員長：佐藤直也	副委員長：東海林勉
須藤順一 出席委員長	4月10日	45	44	30	10	90.9%		委員：加藤幸徳	木村一則
	4月17日	45	44	29		65.9%		前島英樹	宇野 勝

2024-2025年度国際ロータリー  
 会長：ステファニーA. アーチック(アメリカ)  
 第2500地区ガバナー：小谷典之(帯広西RC)  
 第4分区ガバナー補佐：山中憲一(紋別港RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長：乾 淳 副会長：金谷正一

会長エレクト：大西孝 幹事：石井朋子

会計：島田光隆 SAA：高井一博

直前会長：高橋義昭 事務局員：西野真那美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415北海道紋別郡遠軽町若見通南1丁目 遠軽商工会議所内

Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail:info@engaru-rc.com

【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-

42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 \*第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)

